



若鮎の子

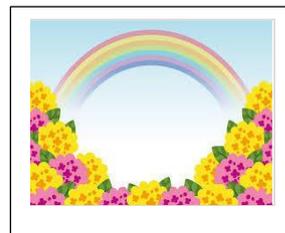
学校だより 平成30年6月11日第4号

国頭村立 安波小学校

国頭村字安波601番地

TEL 0980-41-7556

FAX 0980-41-7558



6月に入り、雨も恥ずかしがり屋な感じがします。そんな中「熱中症」という単語も聞かれるようになってきました。自然に囲まれた安波小学校は、暑さと涼しさが同居し、教室はクーラーが設置されていますが、子どもたちの健康管理に気を付けながら乗り切って参ります。保護者の皆様も子どもたちと同様に、体調管理に気をつけて参りましょう。

《国頭村へき地教育研修会》

5月18日（金）国頭村教育委員会主催によるへき地5校の研修会が、安田小学校を会場として行われました。国頭村教育委員会が推進している「学びの共同体」ビジョンに基づいた研修会です。



子ども達も先生も学びあってます！

「学びの共同体」ビジョンでは、「学びの共同体の学校は、子どもたちが学び育ち合う学校であり、教師も教育の専門家として学び育ち合う」としています。今回は東2校（安波小、安田小）が行っている集合学習を中心に据え、へき地5校の教職員が学び合いました。東京にあります「麻布教育研究所」の永島孝嗣先生を招聘し、指導助言をいただきました。



場所を安田小に設定し、両校の教師が授業を行い安波の子も安田小学校の児童と一っしょに学びます。集合学習を行うことで同学年の児童が増え、単式学級として授業を行う場面を設定しました。両校の児童が一つになり、同じ課題に対して、「聞き合い」「考え合い」「学び合い」ます。「ねえ、ここ、どうやるの？教えて？」と聴ける児童、「それはね」と自分の言葉で丁寧に伝える児童、「う〜ん・・・」と自分の頭の中をフル回転させて真剣に考える児童、授業の中にすてきな「学び」があふれています。それを軸に私たち教師も学び合います。

子どもたちも教師も、そこで学んだことを、日常の学習にフィードバックしながら自校の学習に生かしていきます。そして、子どもたちの「学習の保障」を進めて参ります。



みんなで給食いただきま〜す！

《アブシバレー》

5月19日（土）は安波区アブシバレーでした。安波っ子が放課後に自主的にエイサーを練習しているな、と聞いていたらアブシバレーでの演舞がありました。安波区民に加えて、那覇や中部からも安波郷友会の皆様が多数参加されていました。

ハーリー、懇親会と楽しい時間でした。安波っ子のエイサーは、中学生も加えてそれはそれは見事な演舞で、大きな拍手をいただきました。安波っ子、最高です。

ハーリーでは、子どもたちや先生が2艘にわかれてヨーイドン。勢いよく進む2艘、と言いたいところでしたが、校長の乗った船は全然前に進みません。右に行ったり左に行ったり、乗っているみんなで漕げば漕ぐほどその場で回るだけ。浜で見ていたみなさんは「面白いモノを見た」と大喜び。結局、船にひっばってもらい、ようやく浜にたどり着きました。大海原で仕事をなさっているウミンチュのすばらしさを体で感じた瞬間でした。



スリサーサー